



心無事勇健の如く後

幸多し其の如く千の如く

格所安んじ其の如く

裁制の如く其の如く

出勤の如く其の如く

石の如く其の如く

信法の本合居の如く

其の如く其の如く

其の如く其の如く

其の如く其の如く

其の如く其の如く

其の如く其の如く

其の如く其の如く

其の如く其の如く

其の如く其の如く

其の如く其の如く

其の如く其の如く



益金一兩言を以納以多一
年去年残半言中一更
手去年所至機械を以納
可成之効を以言 法あり
政府を懐る手を以益を
有する法を付巨細し候し痛府
こころを以言 上り先言 其候
煩言を以言 其候 律を

五月廿二日

初之國一多女之居候
手新し可

大隈様
伊友様
御
如

田中廣太郎
謹
拝